
Moobius R 工事退避復旧

Kibi System

2023 年 12 月 27 日

目次

第 1 章	【メビウス R】工事退避復旧	1
1.1	メビウス R で工事退避	3
1.1.1	起動画面より退避	4
1.1.2	工事選択画面より退避	5
1.2	メビウス R で工事復旧	7
1.2.1	ドラッグ&ドロップで復旧	7
1.2.2	手動復旧	9
第 2 章	【メビウス X → メビウス R】工事退避復旧	11
2.1	メビウス X で工事退避	12
2.1.1	起動画面より退避	13
2.1.2	工事選択画面より退避	16
2.2	メビウス R で工事復旧	18
2.2.1	ドラッグ&ドロップで復旧	18
2.2.2	手動復旧	20
第 3 章	【クラウド → メビウス R】工事退避復旧	23
3.1	クラウドで工事退避	24
3.1.1	ログイン直後の画面より退避	25
3.1.2	工事選択画面より退避	27
3.2	メビウス R で工事復旧	28
3.2.1	ドラッグ&ドロップで復旧	28
3.2.2	手動復旧	29
第 4 章	【クラウド R → メビウス R】工事退避復旧	31
4.1	クラウド R (クラウド新バージョン) で工事退避	32
4.1.1	工事選択画面より工事退避	32
4.1.2	ログイン直後の画面より退避	33
4.2	メビウス R で工事復旧	34
4.2.1	ドラッグ&ドロップで復旧	34
4.2.2	手動復旧	35
第 5 章	【メビウス R → クラウド R】工事退避復旧	37
5.1	メビウス R で工事退避	39
5.1.1	工事選択画面より工事退避	39
5.1.2	システム起動画面より退避	41

5.2	クラウドR（クラウド新バージョン）で工事復旧	42
第6章	【メビウスR → クラウド実行】工事退避復旧	43
6.1	メビウスRで工事退避	44
6.1.1	工事選択画面より工事退避	44
6.2	クラウド実行で工事復旧変換処理	46
第7章	【メビウスR → クラウドR実行】工事退避復旧	49
7.1	メビウスRで工事退避	51
7.1.1	工事選択画面より工事退避	51
7.2	クラウドR実行で工事復旧変換処理	52
索引		53

第 1 章

【メビウス R】工事退避復旧

メビウス R で作成した工事データを他ユーザーのメビウス R に退避・復旧する手順について説明します。
主な手順は以下となります。

1. メビウス R で工事データを通常形式（拡張子 **.RKoji**）で退避
2. 他ユーザーのメビウス R で復旧

通常形式で工事退避ファイル作成

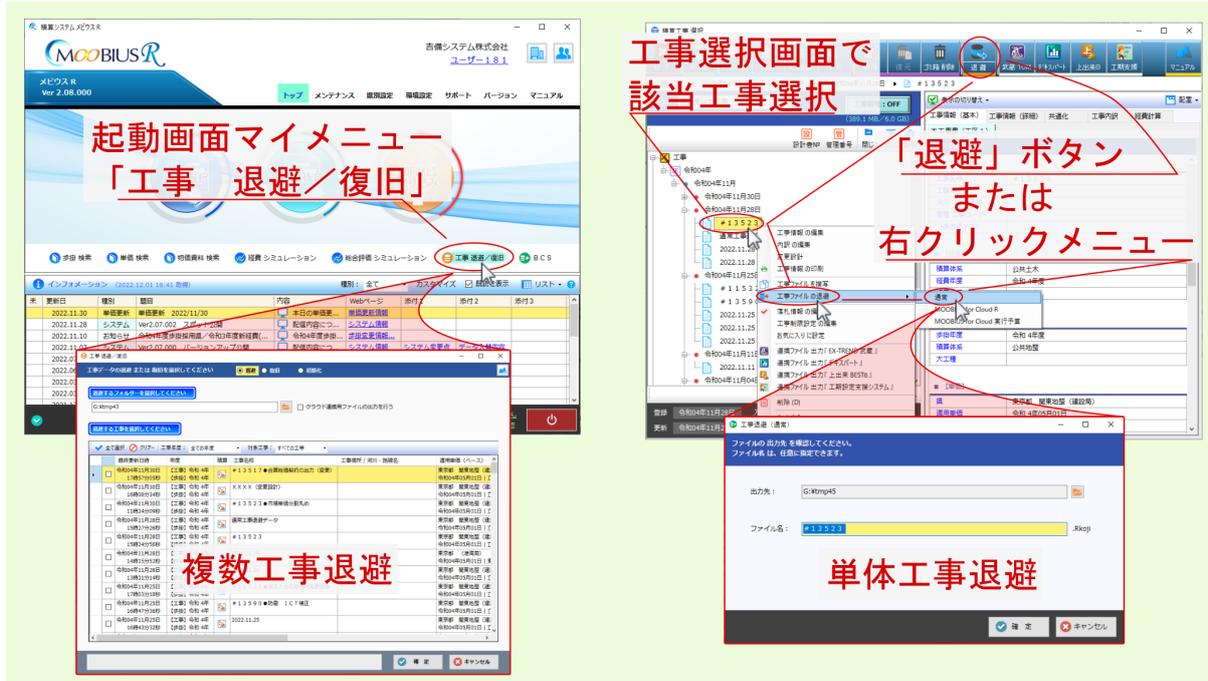
別ユーザーのメビウスRで工事復旧

未	更新日	種別	題目	内容	Webページ	添付1	添付2	添付3
●	2022.11.30	単価更新	単価更新 2022/11/30	本日の単価更...	単価更新情報			
●	2022.11.28	システム	Ver2.07.002 スポット公開	配信内容につ...	システム情報			
●	2022.11.10	お知らせ	令和4年度歩掛採用用/令和3年度新経費(...	令和4年度歩掛...	歩掛変更情報...			
●	2022.11.07	システム	Ver2.07.000 バージョンアップ公開	配信内容につ...	システム情報	システム変更点	データ入替内容	
●	2022.07.13	お知らせ	令和4年7月1日更新として市場単価と刊行...	札幌市HPにて...				
●	2022.06.30	お知らせ	兵庫県土地改良 令和4年6月単価以降...	兵庫県農政課...				
●	2022.03.30	お知らせ	プロダクトをご利用のお客様へ	プロダクトを...				
●	2022.03.17	お知らせ	【岩手県】3月発注工事の労務単価について	現在公開され...				
●	2022.12.05	お知らせ	Windows 11のインストールについて	Windows 11の...				

1.1 メビウスRで工事退避

メビウスR の工事データを 通常形式 (拡張子 .Rkoji) のファイルに退避するには、以下の二通りの方法があります。

- 起動画面マイメニュー 工事 退避 / 復旧 より退避 (複数退避可)
- 工事選択画面より退避 (単体工事退避のみ)



1.1.1 起動画面より退避

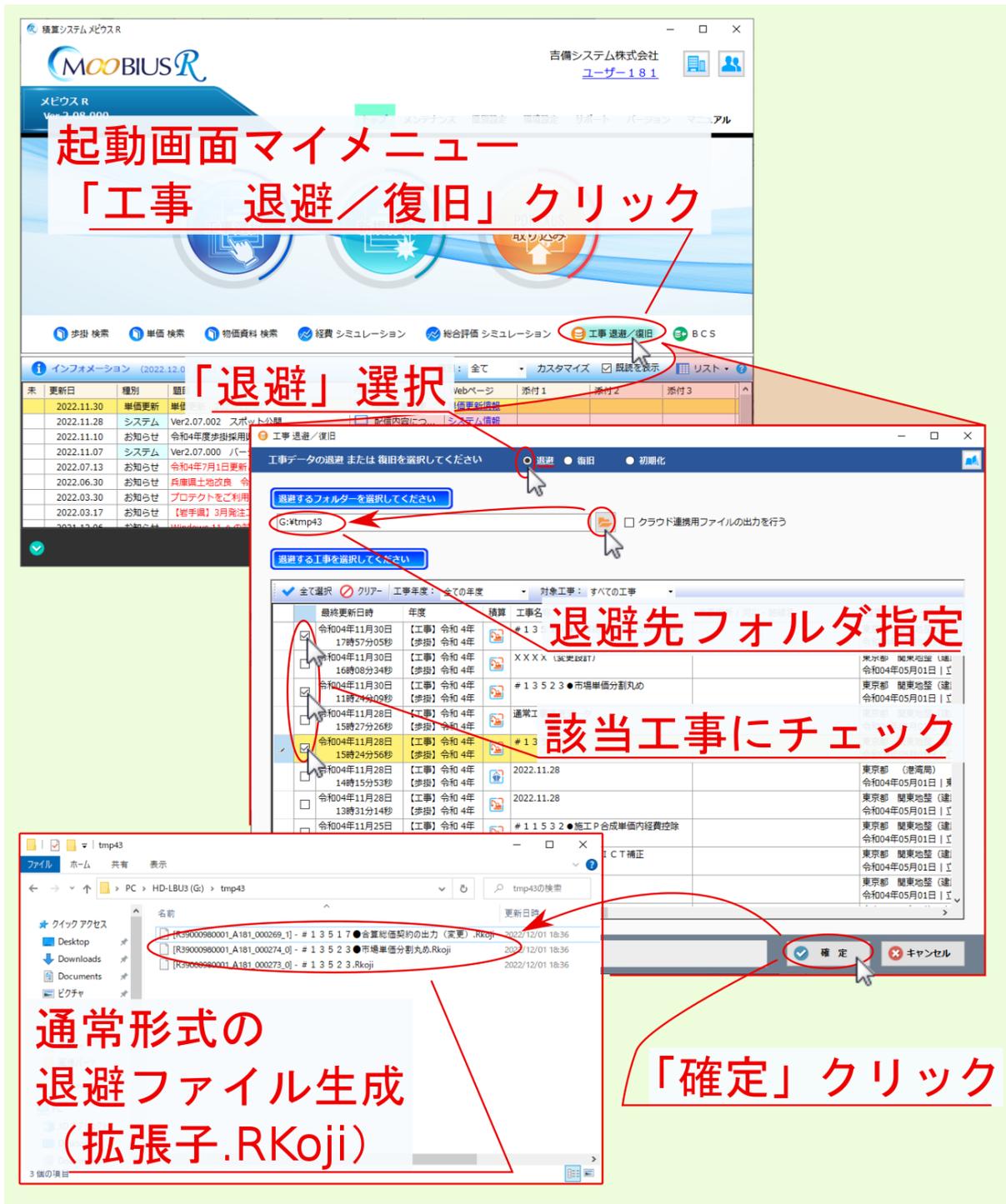
メビウスR 起動画面より、工事退避ファイルを作成するには、起動画面下部 マイメニュー 内の 工事 退避 / 復旧 をクリックしてください。

工事 退避 / 復旧 画面が表示されるので、最初に画面上部の 退避 を選んだ後、退避先フォルダーを指定してください。

退避先フォルダーを指定したら、一覧より該当工事にチェックを付けた後、画面右下の 確定 をクリックしてください。

指定したフォルダーに退避ファイル（拡張子 **.Rkoji**）が作成されます。

注釈: クラウド連携用ファイルの出力を行う のチェックは外しておいてください。異なる形式で退避ファイルが作成されます。

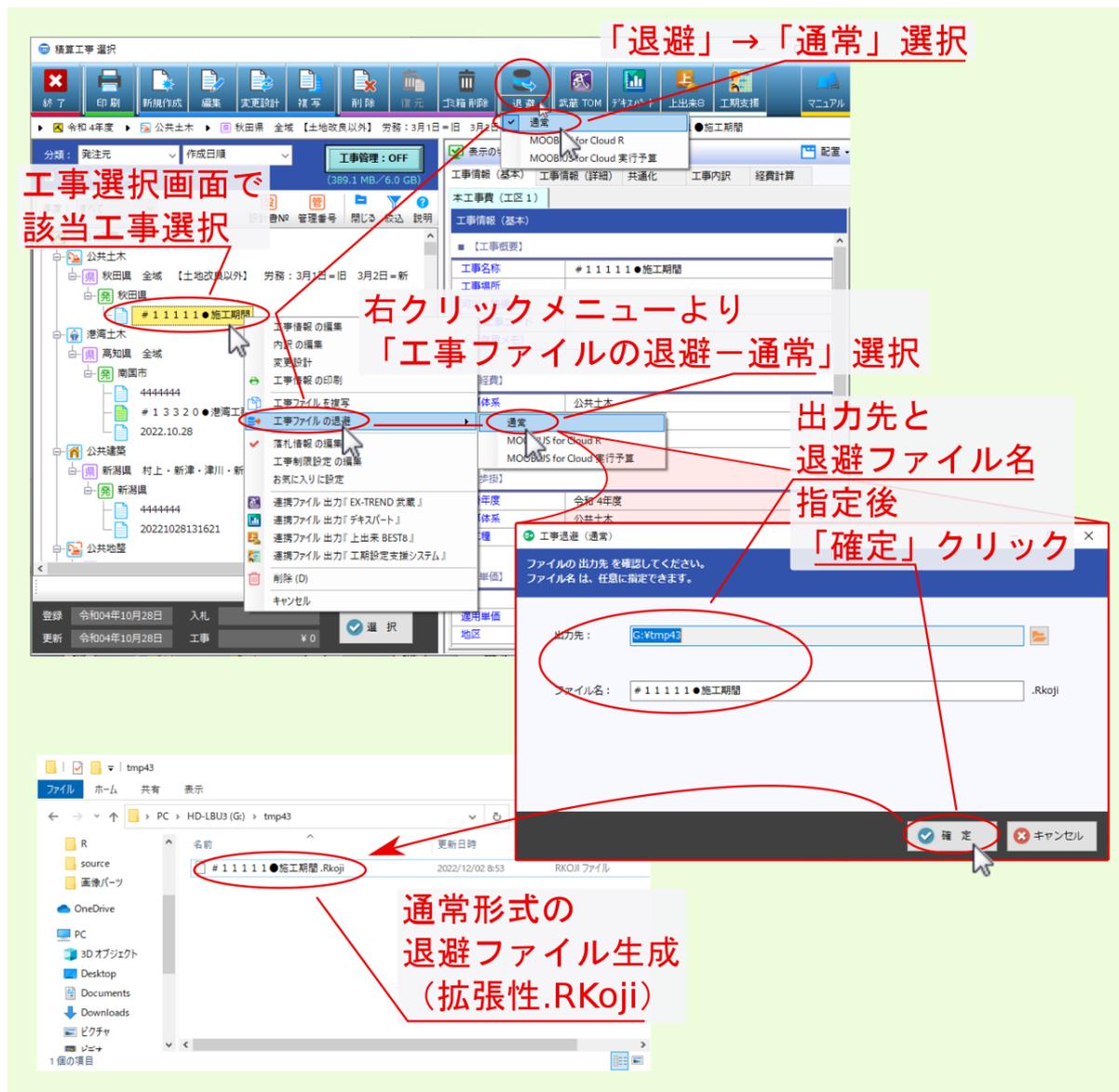


1.1.2 工事選択画面より退避

メビウスRの工事選択画面より工事退避ファイルを作成するには、工事一覧ツリーより該当工事を選択後、画面上部の退避ボタンから通常を選択するか、該当工事右クリックメニューより工事ファイルの退避 - 通常を選んでください。

出力設定画面が表示されるので、出力先とファイル名を指定した後、画面右下確定をクリックしてください。

指定した出力先に退避ファイル（拡張子 .Rkoji ）が作成されます。



1.2 メビウスRで工事復旧

メビウスR で通常形式（拡張子 **.Rkoji**）の退避ファイルを作成したら、引き続き他ユーザーのメビウスRで工事データを復旧します。

1.2.1 ドラッグ&ドロップで復旧

工事退避ファイルをメビウスR起動画面にドラッグ&ドロップすると、ファイル形式に基づき各項目が設定された状態で工事退避/復旧画面が表示されるので、各項目を確認後、画面右下 **確定** をクリックしてください。

正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事が復旧されているのを確認してください。

注釈: ユーザー独自の発注者を復旧するにチェックを付けると、ユーザーが独自に登録した発注者情報も復旧されます。

退避ファイル (拡張子.RKoji)

起動画面中段に退避ファイルをドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップした退避ファイルに基づき自動的に復旧設定

復旧内容表示

設定確認後「確定」クリック

更新日	種別	項目	内容
2022.11.30	単価更新	単価更新 2022/11/30	
2022.11.28	システム	Ver2.07.002 スポット公開	
2022.11.10	お知らせ	令和4年度歩掛採用議/令和3	
2022.11.07	システム	Ver2.07.000 パージョンア	
2022.07.13	お知らせ	令和4年7月1日更新として市	
2022.06.30	お知らせ	兵庫県土地改良 令和4年6月	
2022.03.30	お知らせ	プロジェクトをご利用のお客	
2022.03.17	お知らせ	【智手編】3月発注工事の	

更新日	種別	項目	内容
令和04年17時	【歩掛】	令和 4年	# 1 3 5 1 7 ● 合算給価契約の出力 (変更)
令和04年11月28日	【工事】	令和 4年	# 1 3 5 2 3 ● 市場単価分割丸め
令和04年10月28日	【歩掛】	令和 4年	# 1 1 1 1 1 ● 施工期間

メッセージ

復旧処理が完了しました

工事データの復旧状況の詳細は、下記内容を確認してください。

成功 : 4件

【復旧状況の詳細】

- 成功した工事
- # 1 3 5 1 7 ● 合算給価契約の出力 (変更)
- # 1 3 5 2 3 ● 市場単価分割丸め
- # 1 3 5 2 3
- # 1 1 1 1 1 ● 施工期間

内容をクリップボードにコピー

OK

1.2.2 手動復旧

工事退避ファイルをメビウスR起動画面にドラッグ&ドロップせずに復旧する場合は、以下手順で工事を復旧してください。

メビウスR 起動画面中段 マイメニュー より 工事 退避 / 復旧 を選んでください。

工事 退避 / 復旧 画面が表示されたら、画面上部の 復旧 を選んだ後、先に作成した退避ファイルを格納しているフォルダーを指定してください。

格納フォルダー内に保存されている工事退避データ（拡張子 **.Rkoji**）が一覧表示されるので、該当工事にチェックを付けた後、画面右下 確定 をクリックしてください。

正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事データが復旧されているのを確認してください。

注釈: クラウド連携用ファイルの出力を行う のチェックは外しておいてください。異なる形式で退避ファイルが復旧対象として一覧表示されます。

注釈: ユーザー独自の発注者を復旧する にチェックを付けると、ユーザーが独自に登録した発注者情報も復旧されます。

退避ファイル格納フォルダ指定

起動画面マイメニュー内「工事 退避/復旧」クリック

「退避」選択

指定フォルダ内の該当退避データ一覧より復旧対象にチェック

復旧内容表示

設定確認後「確定」クリック

最終更新日時	年度	積算	工事名称	工事場所 / 河川・路線名	運用単価 (ベース)
令和04年11月30日 17時57分05秒	令和 4年	積算	#13517 ●合算給価契約の出力 (変更)		東京都 麗東地盤 (建設) 令和04年05月01日 立川
令和04年11月30日 11時24分09秒	令和 4年	積算	#13517 ●合算給価契約の出力 (変更)		東京都 麗東地盤 (建設) 令和04年05月01日 立川
令和04年11月28日 15時24分56秒	令和 4年	積算	#13517 ●合算給価契約の出力 (変更)		東京都 麗東地盤 (建設) 令和04年05月01日 立川
令和04年11月28日 10時30分54秒	令和 4年	積算	#13517 ●合算給価契約の出力 (変更)		秋田県 全域 【土地改良】 月1日 → 旧 3月2日 → 新 令和04年11月01日 鹿角

第 2 章

【メビウスX → メビウスR】工事退避復旧

メビウスX で作成した工事データを メビウスR に移行する手順について説明します。
 主な手順は以下となります。

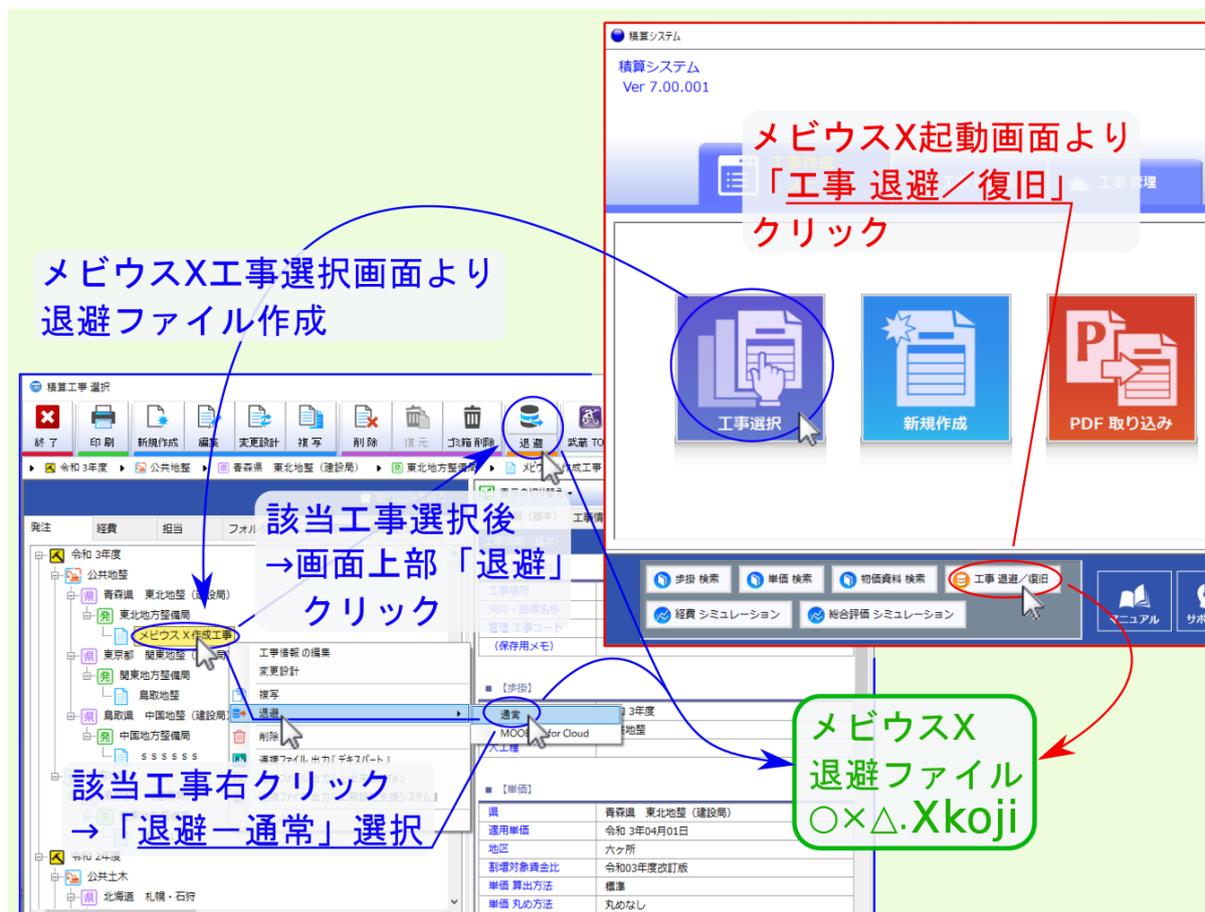
1. メビウスX で工事データを 通常形式（拡張子 .XKoji）で 退避
2. メビウスR で旧データ 復旧 処理



2.1 メビウスXで工事退避

メビウスXの工事データを通常形式（拡張子.Xkoji）のファイルに退避するには、二通りの方法があります。

- 起動画面より退避
- 工事選択画面より退避



2.1.1 起動画面より退避

メビウスX 起動画面より工事データの退避ファイルを作成する場合は、最初に起動画面下部 マイメニュー 内の 工事退避・復旧 をクリックしてください。工事退避・復旧 画面が表示されます。

The screenshot shows the Moobius R software interface. The top navigation bar includes '工事成成', '工事編集履歴', '工事管理', and 'メンテナンス'. The bottom navigation bar contains '歩掛検索', '単価検索', '物価資料検索', '工事退避/復旧', '経費シミュレーション', and '総合評価シミュレーション'. A red circle highlights the '工事退避/復旧' button. A red arrow points from this button to the '工事退避/復旧画面' (Retrieval/Recovery screen) which displays a table of project data.

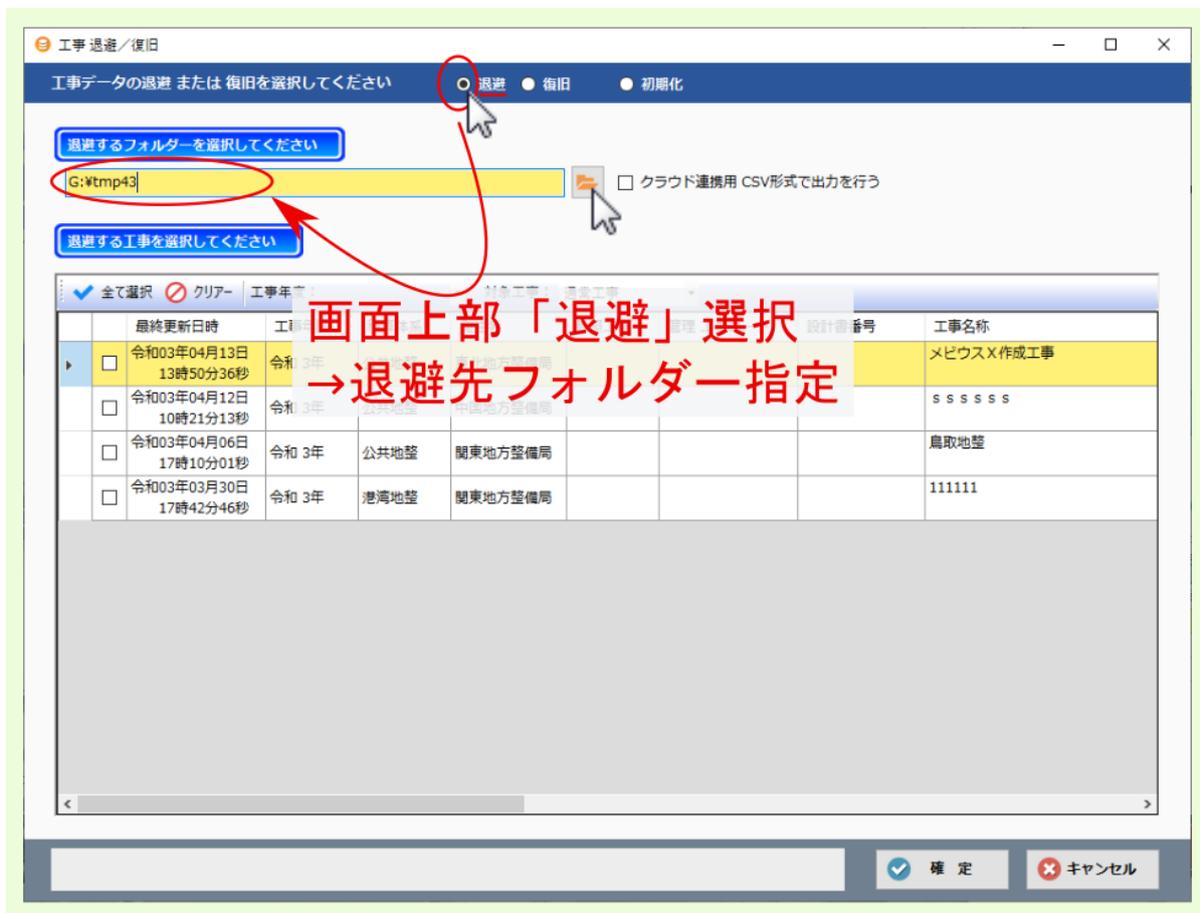
メビウスX起動画面下部
「工事 退避/復旧」
クリック

工事退避/復旧画面

最終更新日時	工事年度	積算体系	発注者	参照工事	管理 工事コード	設計書番号	工事名称
令和03年04月13日 13時50分36秒	令和 3年	公共地盤	東北地方整備局	参照工事			メビウスX作成工事
令和03年04月12日 10時21分13秒							
令和03年04月06日 17時10分01秒							
令和03年03月27日 17時42分46秒	令和 3年	港海地盤	関東地方整備局				

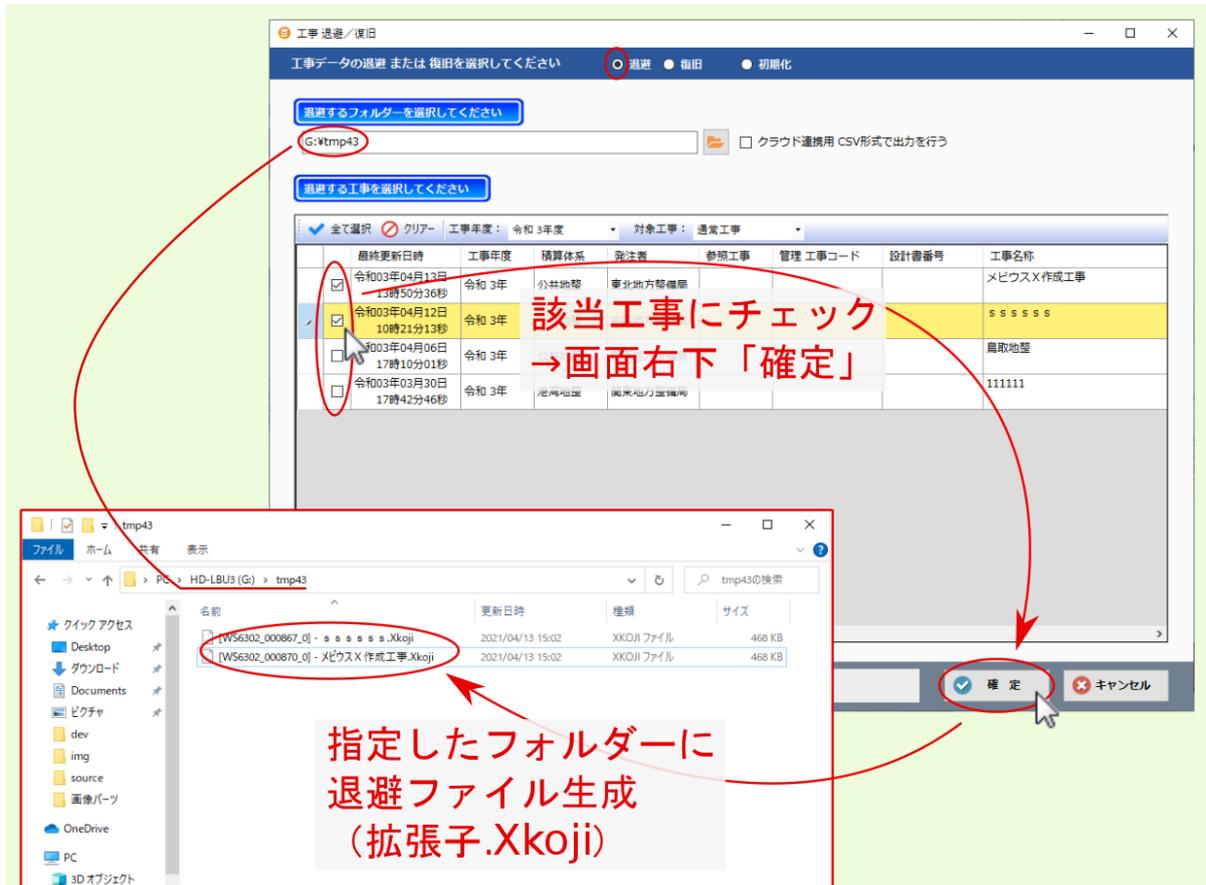
工事退避・復旧 画面が表示されたら、画面上部の 退避 を選んだ後、退避先フォルダーを指定してください。

注釈: クラウド連携用 CSV 形式で出力を行う および クラウド (R 版) 連携用ファイルで出力を行う のチェックは外しておいてください。異なる形式で退避ファイルが作成されます。



退避先フォルダーを指定したら、工事一覧より該当工事にチェックを付けた後、画面右下の 確定 をクリックしてください。

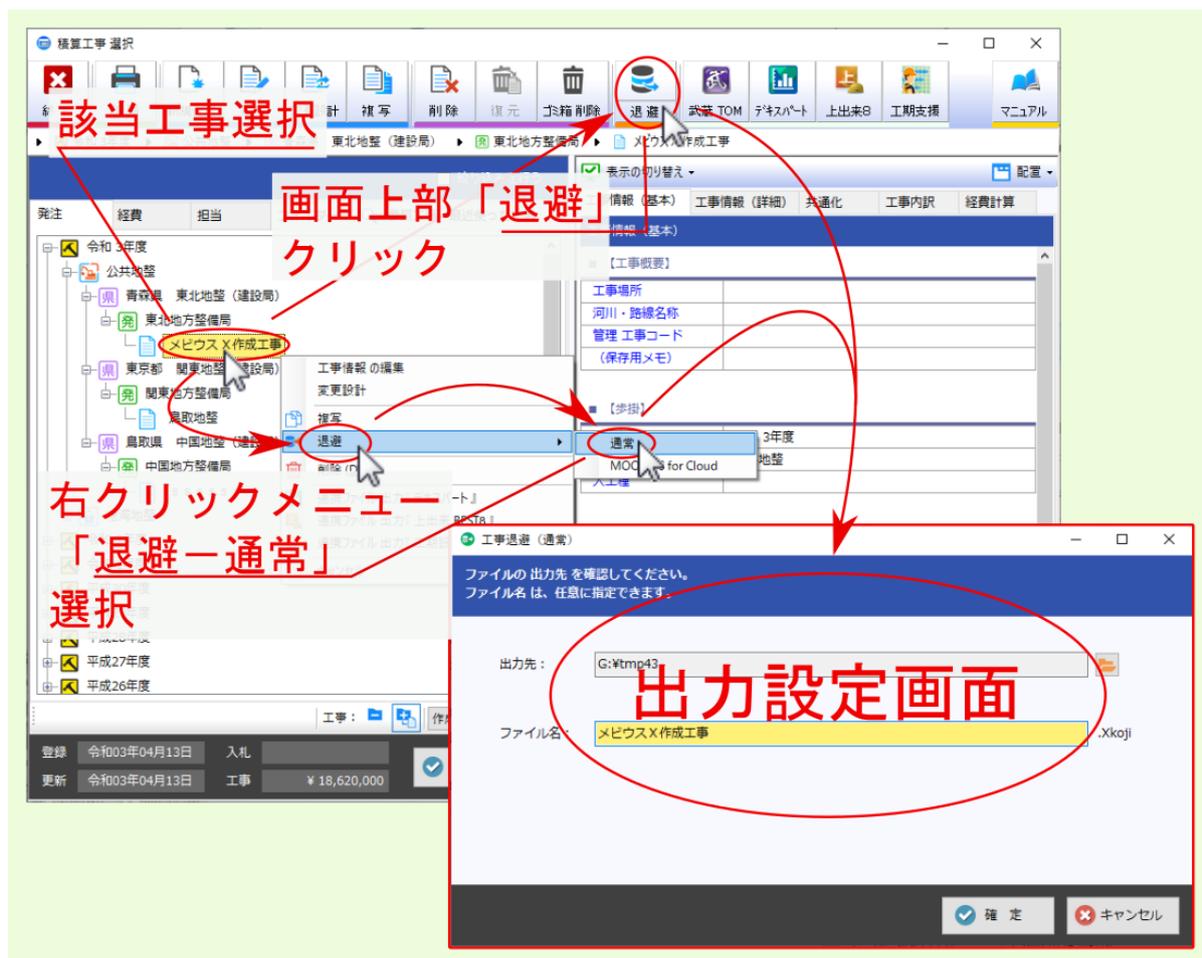
指定したフォルダーに退避ファイル（拡張子 .Xkoji ）が作成されます。



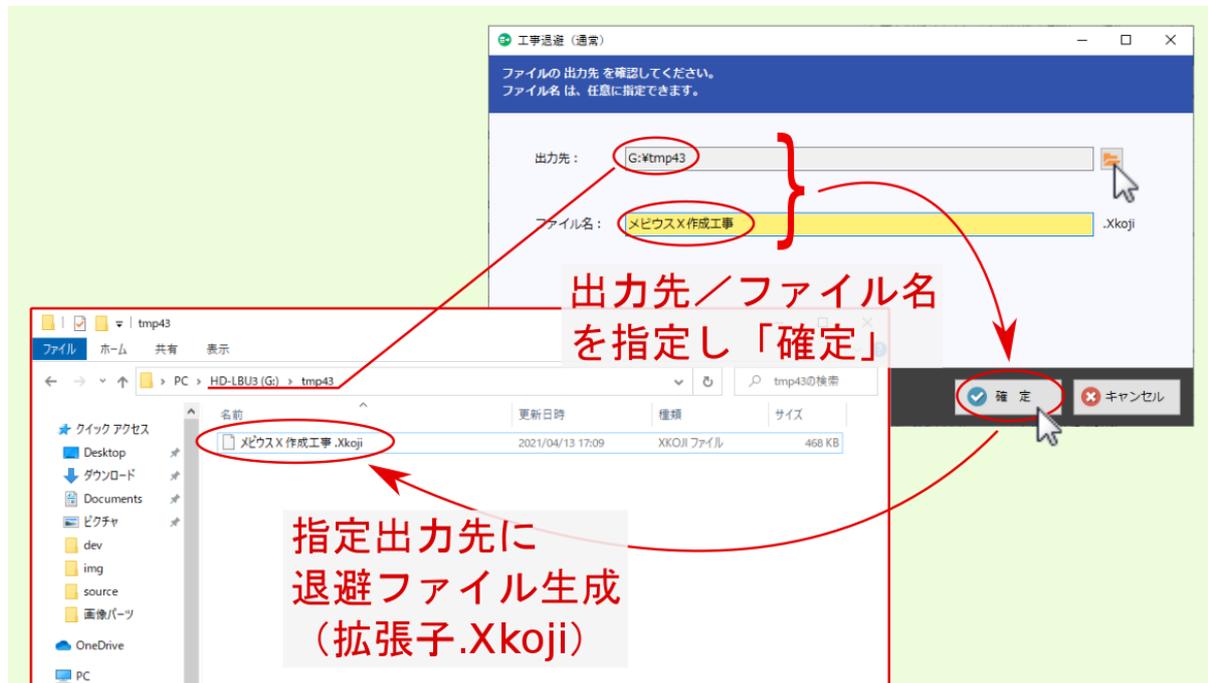
2.1.2 工事選択画面より退避

メビウスX の工事選択画面より工事データの退避ファイルを作成する場合は、工事一覧ツリーより該当工事を選択後、画面上部の退避をクリックするか、該当工事右クリックメニューより退避 - 通常を選んでください。

出力設定画面が表示されます。



出力設定画面が表示されたら、出力先とファイル名を指定した後、画面右下 確定 をクリックしてください。
指定した出力先に退避ファイル（拡張子 .Xkoji ）が作成されます。



2.2 メビウスRで工事復旧

メビウスXで通常形式（拡張子 **.Xkoji**）の退避ファイルを作成したら、引き続きメビウスRで工事データを復旧します。

2.2.1 ドラッグ&ドロップで復旧

工事退避ファイルをメビウスR起動画面にドラッグ&ドロップすると、ファイル形式に基づき各項目が設定された状態で工事退避/復旧画面が表示されるので、各項目を確認後、画面右下 **確定** をクリックしてください。正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事が復旧されているのを確認してください。

注釈: メビウスXの退避ファイル（拡張子 **.XKoji**）を復旧する場合は、旧データを復旧するのチェックは外さないでください。

注釈: ユーザー独自の発注者を復旧するにチェックを付けると、ユーザーが独自に登録した発注者情報も復旧されます。

メビウスXの退避ファイル（拡張子.XKoji）

起動画面中段に退避ファイルをドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップした退避ファイルに基づき自動的に復旧設定

設定確認後「確定」クリック

復旧内容表示

The screenshot illustrates the workflow for restoring project data in Moobius R. It starts with a Windows File Explorer window showing selected files with the .XKoji extension. These files are then dragged onto the Moobius R main interface. A dialog box prompts the user to select restoration options for the dropped files. After confirming the settings, a message box displays the list of successfully restored projects, including details like project numbers and names.

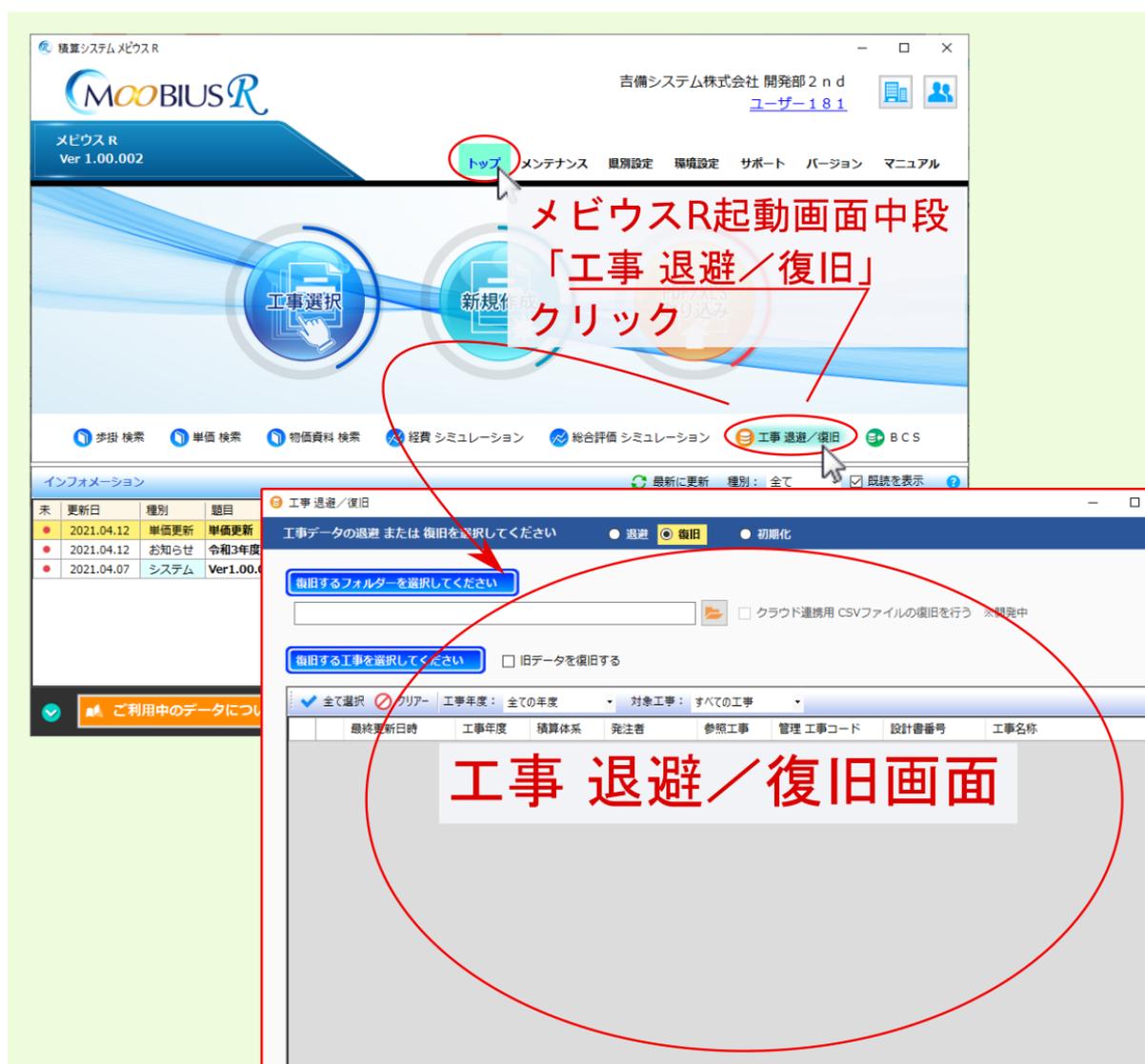
成功した工事	工事場所 / 河川・路線名	適用単価 (ベース)
・ # 1 3 5 0 8 ● 合算給価契約 (変更設計)		東京都 関東地産 (建設)
・ # 1 2 2 4 8 ● 港開港雑費		令和04年06月01日 立川
		東京都 (港開港)
		令和04年09月01日 東京

2.2.2 手動復旧

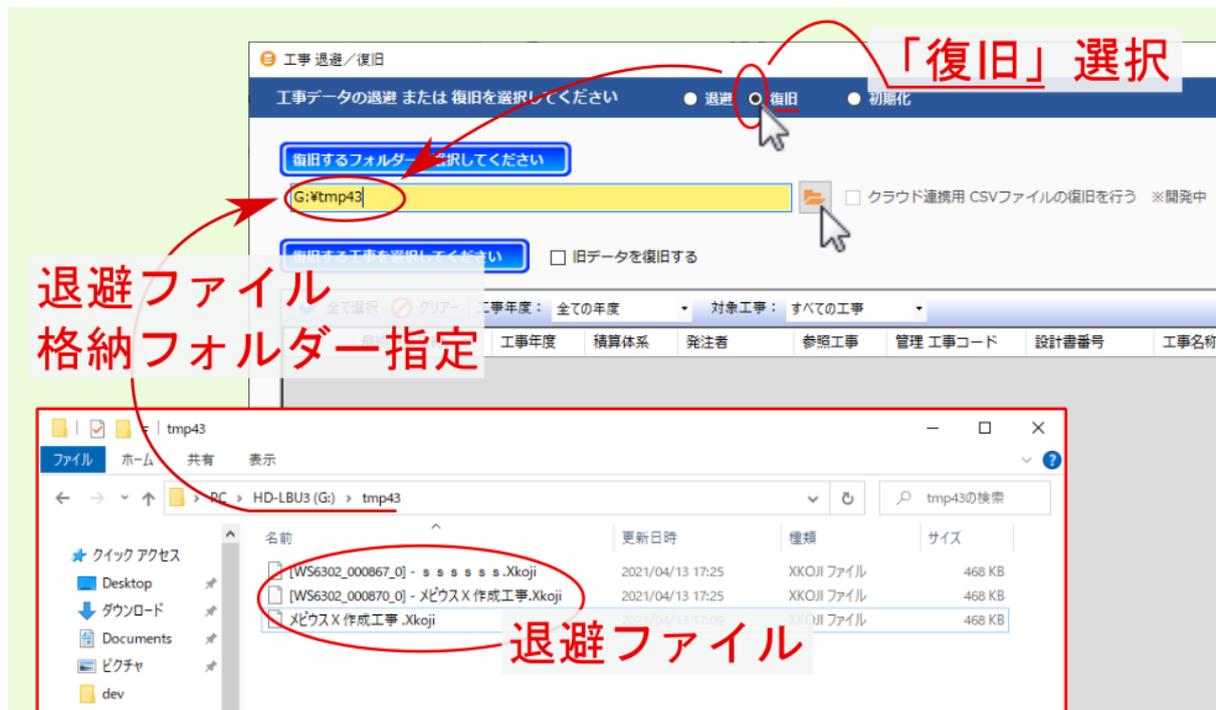
工事退避ファイルをメビウスR起動画面にドラッグ&ドロップせずに復旧する場合は、以下手順で工事を復旧してください。

メビウスR 起動画面中段 マイメニュー より 工事 退避・復旧 を選んでください。

工事 退避 / 復旧 画面が表示されます。



工事 退避 / 復旧 画面が表示されたら、画面上部の 復旧 を選んだ後、先に作成した退避ファイルを格納しているフォルダーを指定してください。



退避ファイルの格納フォルダーを指定したら、旧データを復旧する にチェックを付けてください。

格納フォルダー内に保存されている旧形式の工事退避データ（拡張子 .Xkoji ）が一覧表示されるので、該当工事にチェックを付けた後、画面右下 確定 をクリックしてください。

正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事データが復旧されているのを確認してください。

**「旧データを復旧する」
チェック
→工事一覧表示**

復旧する工事を選択してください

旧データを復旧する

最終更新日時	工事年度	積算体系	発注者	参照工事	管理 工事コード	設計書番号	工事名称
令和03年04月13日 13時50分36秒	令和 3年	公共地整	東北地方整備局				メビウスX作成工事
令和03年04月13日 13時50分36秒	令和 3年	公共地整					メビウスX作成工事
令和03年04月12日 10時21分13秒	令和 3年	公共地整					SSSSSS

**該当工事チェック
→「確定」**

**工事選択画面に
復旧工事表示**

確定

第3章

【クラウド → メビウスR】工事退避復旧

クラウドで作成した工事データをメビウスRに移行する手順について説明します。
 主な手順は以下となります。

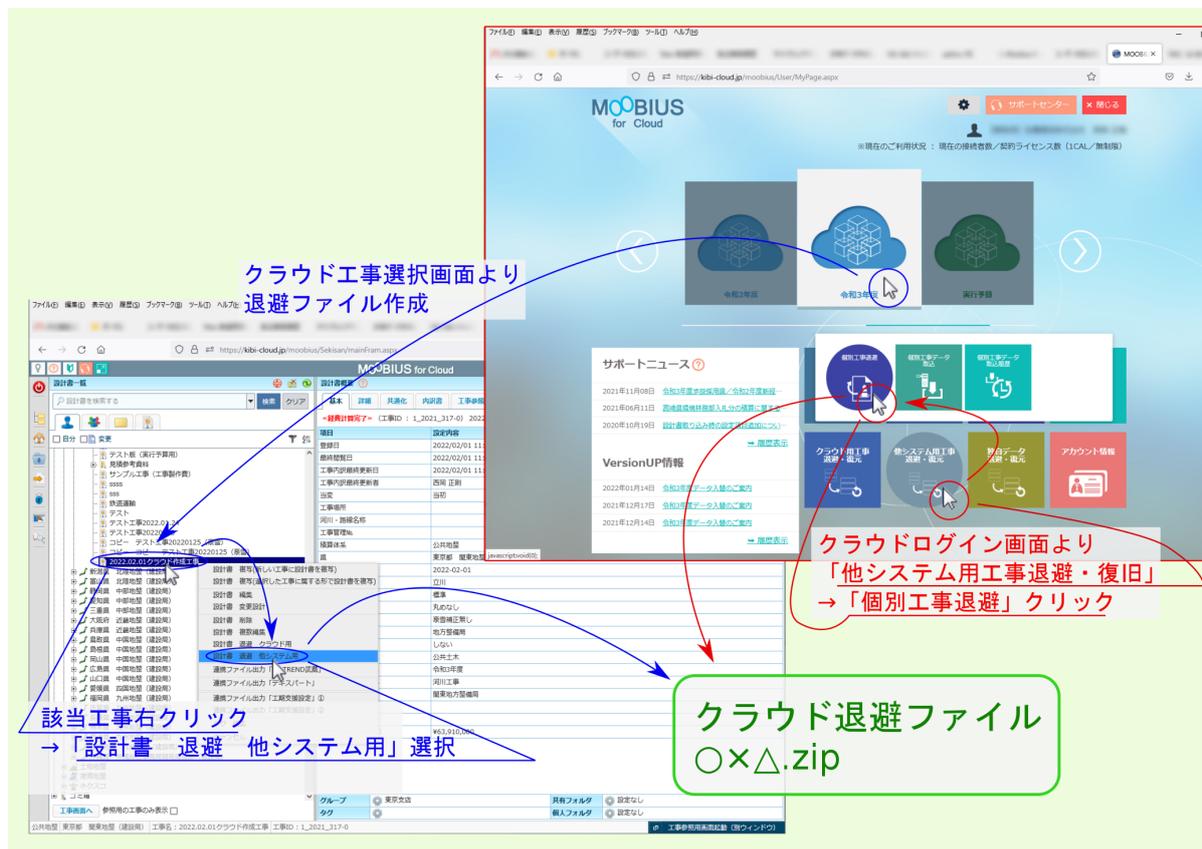
1. クラウドで工事データを他システム用工事退避・復元機能により個別工事退避
2. メビウスRでクラウド連携ファイル復旧処理

The image shows two overlapping browser windows. The top window is the 'MOOBIOUS for Cloud' dashboard, which features a navigation menu with icons for 'クラウド' (Cloud), '他システム用個別工事退避' (Individual project backup for other systems), and 'クラウド退避ファイル ○×△.zip' (Cloud backup file). The bottom window is the 'MOOBIOUS R' interface, which displays a table of project data and a 'クラウド連携ファイル復旧' (Cloud collaboration file restoration) button. Red callouts with arrows point from the text labels to the corresponding elements in both windows.

3.1 クラウドで工事退避

クラウドの工事データを他システム用個別工事退避する（拡張子 .zip ）には、二通りの方法があります。

- ログイン直後の画面より他システム用個別工事退避
- 工事選択画面より他システム用個別工事退避



3.1.1 ログイン直後の画面より退避

クラウド ログイン直後の画面内下部にある 他システム用工事退避・復元 をクリックしてください。
サブメニューが表示されるので 個別工事退避 をクリックした後、以下手順で工事データを退避してください。

1. 個別工事退避画面で **BackUP** へクリック
2. 工事選択 をクリックし、退避したい工事を選んで **確定** をクリック
3. **BackUP 実行** をクリック
4. 処理完了後、リンクをクリックして退避データをダウンロード



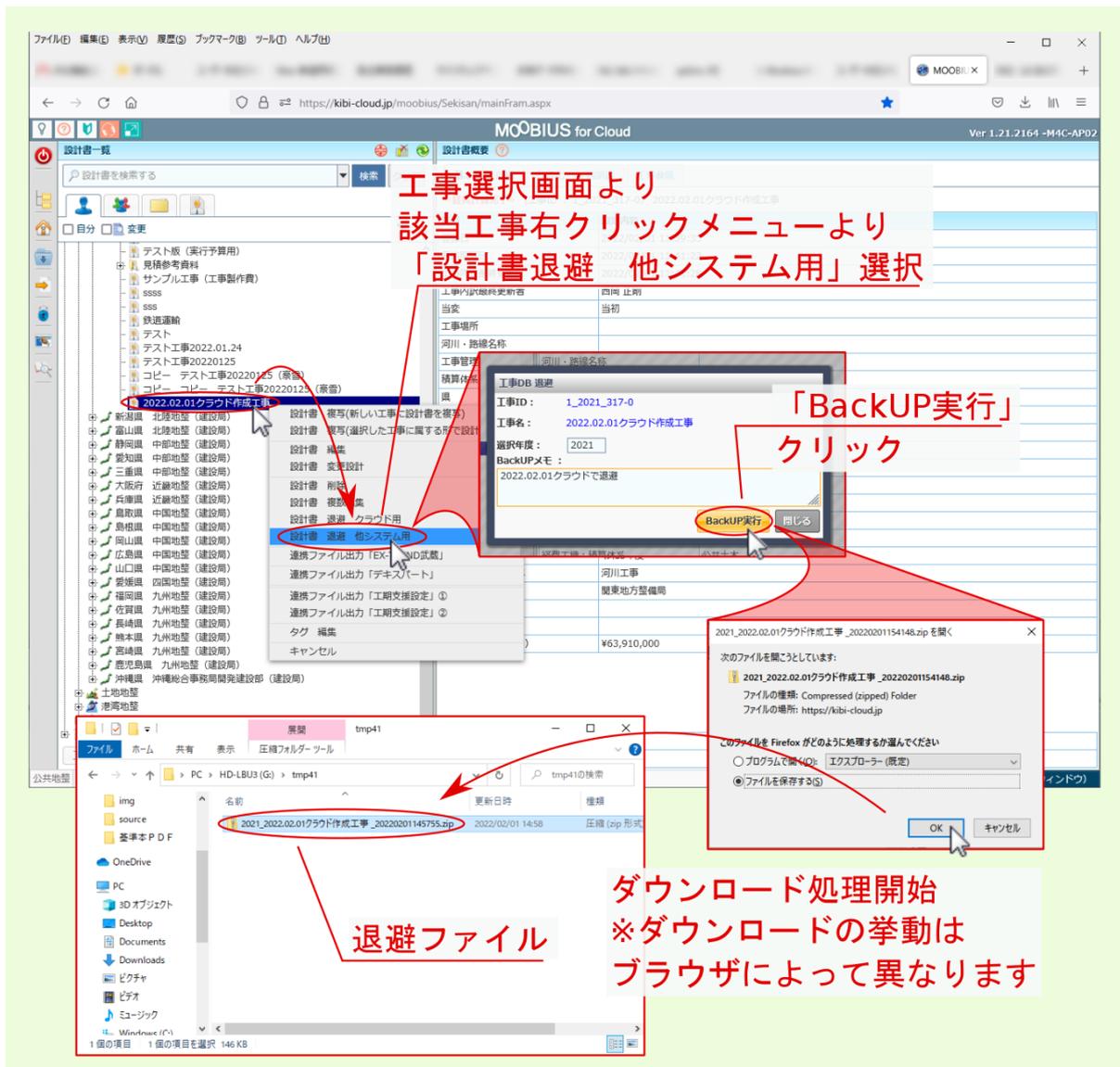
3.1.2 工事選択画面より退避

クラウド 工事選択画面からも 他システム用個別工事ファイル を退避できます。

以下手順で工事データを退避してください。

1. 工事選択画面で、該当工事右クリックメニューより 設計書 退避 他システム用 選択
2. 工事 DB 退避画面が表示されたら、BackUP メモ 入力後、BackUP 実行 クリック
3. 退避データダウンロード

注釈: ダウンロード時の画面や挙動はお使いのブラウザにより異なります。



3.2 メビウスRで工事復旧

クラウドで他システム用個別工事ファイル（拡張子 .zip ）の退避ファイルを作成したら、引き続き メビウス R で工事データを復旧します。

3.2.1 ドラッグ&ドロップで復旧

工事退避ファイルをメビウスR起動画面にドラッグ&ドロップすると、ファイル形式に基づき各項目が設定された状態で工事退避/復旧画面が表示されるので、各項目を確認後、画面右下 確定 をクリックしてください。正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事が復旧されているのを確認してください。

クラウドの退避ファイル (拡張子.zip)

起動画面中段に退避ファイルをドラッグ&ドロップ

ドラッグ&ドロップした退避ファイルに基づき自動的に復旧設定

設定確認後「確定」クリック

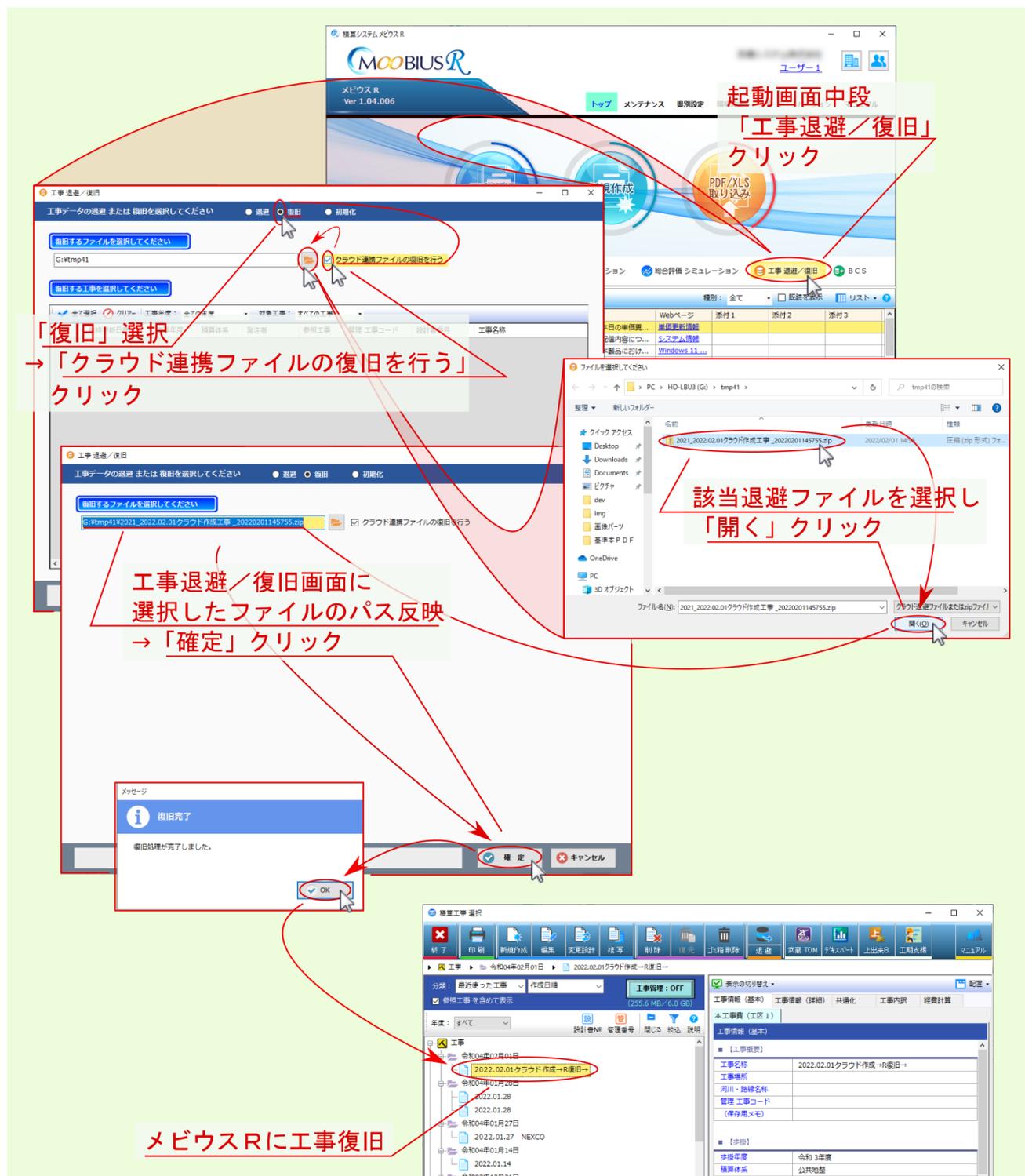
復旧完了確認画面

メッセージ
復旧完了
 復旧処理が完了しました。
 OK

3.2.2 手動復旧

メビウスR起動画面内のメニューにある **工事 退避・復旧** をクリックし **工事 退避 / 復旧** 画面が表示されたら、以下の手順で工事データを復旧してください。

1. **復旧** を選択
2. **クラウド連携ファイルの復旧を行う** にチェック
3. 該当ファイルを選ぶと **工事 退避 / 復旧** 画面にファイルパスが表示されるので **確定** クリック
4. **復旧完了** が表示されたら **OK** をクリック



第4章

【クラウドR → メビウスR】工事退避復旧

クラウドR（クラウド新バージョン）で作成した工事データを メビウスR に移行する手順について説明します。

主な手順は以下となります。

1. クラウドR（クラウド新バージョン）で工事データを 他システム用工事退避・復旧 機能により 個別工事退避
2. メビウスR で クラウド連携ファイル復旧 処理

クラウドR（クラウド新バージョン）

他システム用
個別工事退避

クラウドR退避ファイル
○△×.Rkojc

クラウド連携
ファイル復旧

メビウスR

日時	種別	内容	Webページ	添付1	添付2	添付3
2022.05.30	お知らせ	【特別】土地改良・令和4年度職員への...	静岡県立通...			
2022.05.23	お知らせ	令和4年度労働報酬/令和3年度新経費(...	令和4年度歩...			
2022.05.17	お知らせ	事務更新 2022/6/16	本日の事務...			
2022.05.16	システム	Ver2.02.002 スポット公開	配布内容につ...			
2022.05.15	お知らせ	【特別】令和4年5月1日以降特採保に...	静岡市庁にて...			
2022.05.13	システム	Ver2.02.000 バージョンアップ以降	配布内容につ...			
2022.05.12	お知らせ	【山に譲】経費 額名額特採保算定式採用...	山口県庁にて...			

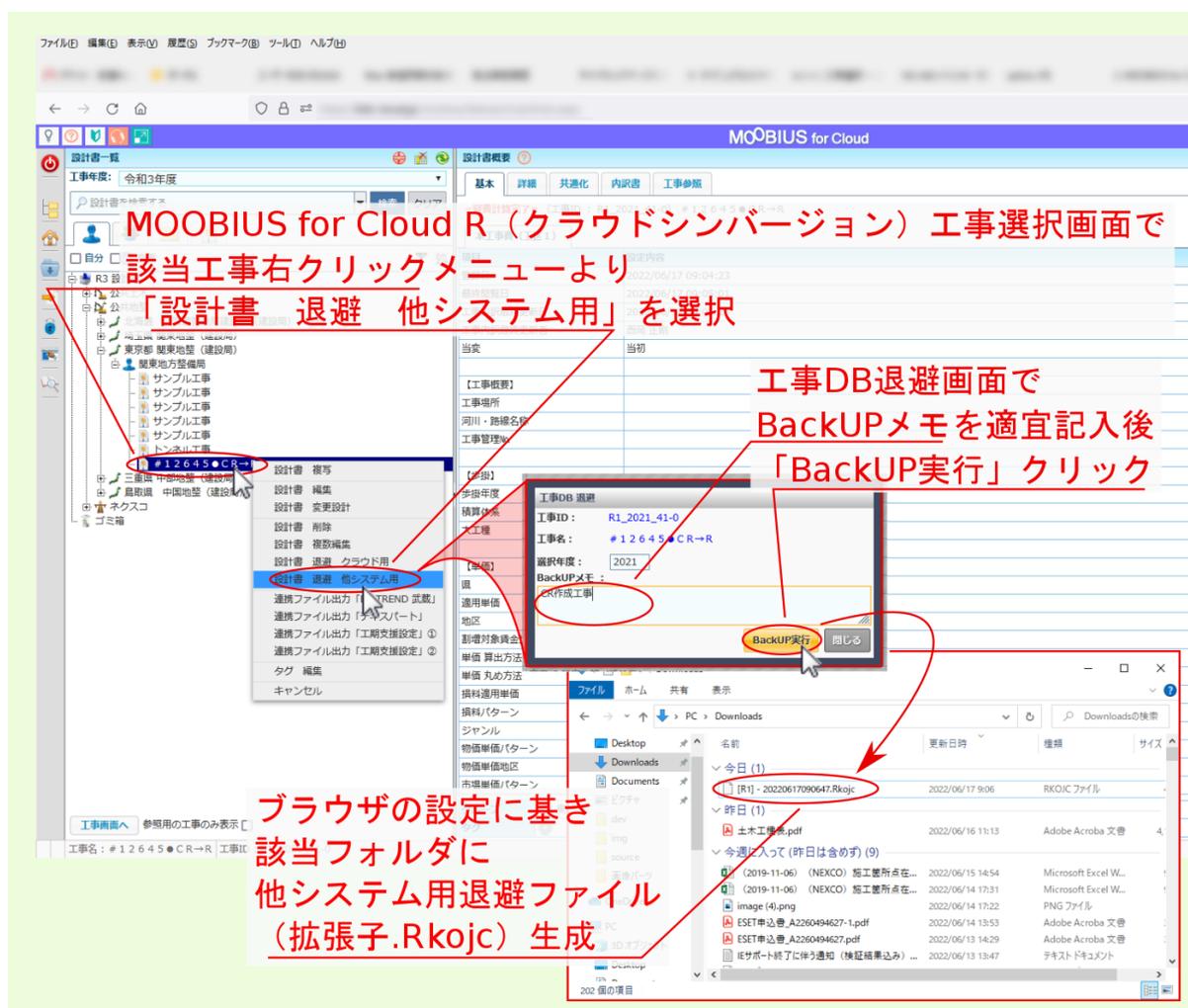
4.1 クラウドR（クラウド新バージョン）で工事退避

クラウドR（クラウド新バージョン）の工事データを他システム用個別工事退避（拡張子 .Rkojc）するには、以下のいずれかの手順で行ってください。

4.1.1 工事選択画面より工事退避

クラウドR（クラウド新バージョン）の工事選択画面から他システム用退避ファイルを作成できます。

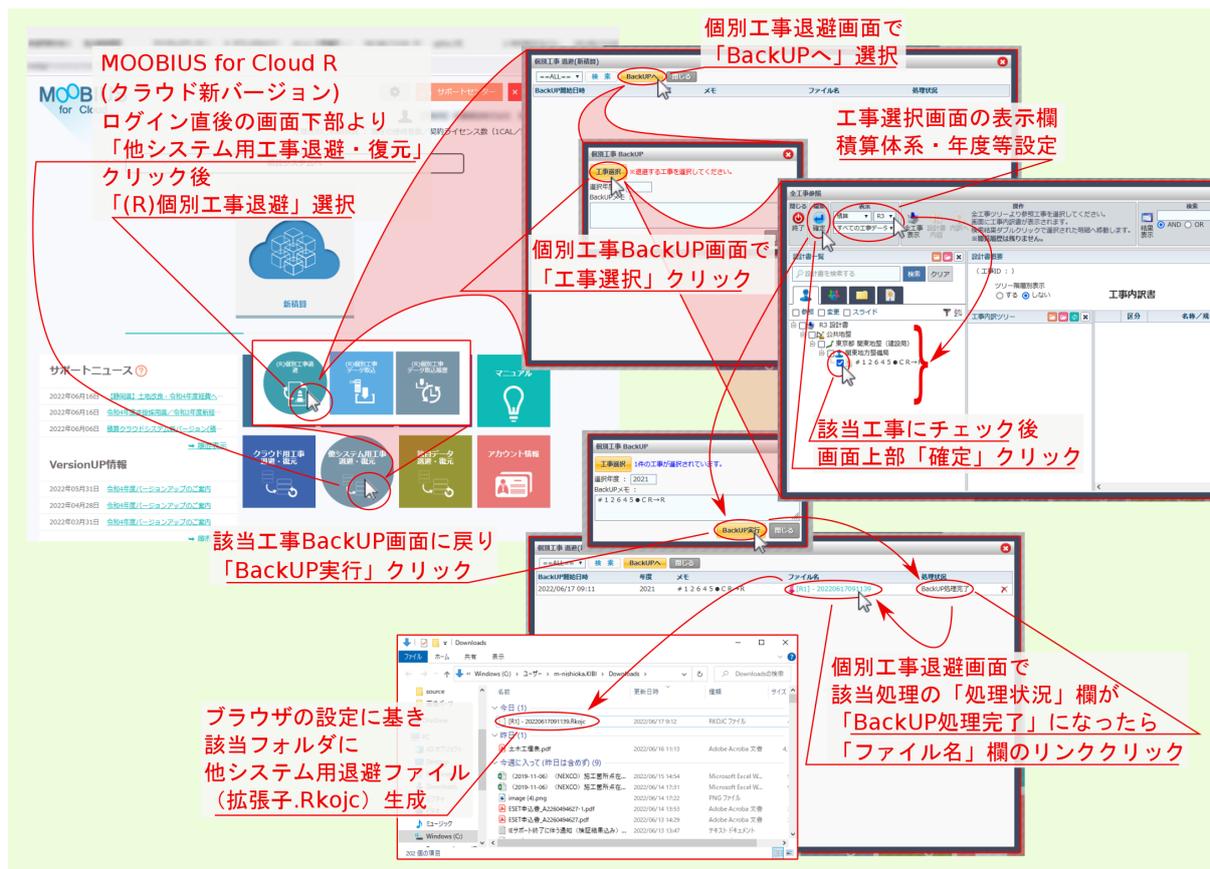
1. クラウドR（クラウド新バージョン）工事選択画面で該当工事データ右クリックメニューより 設計書退避 他システム用 を選択
2. 工事 DB 退避 画面が表示されるので、適宜 BackUP メモ 欄記入後、BackUP 実行 クリック
3. ブラウザの設定に基づき、該当フォルダーに他システム用工事退避ファイル（拡張子 .Rkojc）生成



4.1.2 ログイン直後の画面より退避

クラウドR（クラウド新バージョン）のログイン直後の画面からは複数の工事データについて一括で他システム用退避ファイルを作成できます。

1. クラウドR（クラウド新バージョン）のログイン直後の画面下部より 他システム用工事退避・復元 をクリックして表示される選択肢より **(R)** 個別工事退避 選択
2. 個別工事退避画面が表示されるので画面上部の **BackUP** クリック
3. 個別工事 BackUP 画面が表示されるので **工事選択** クリック
4. 工事選択（全工事参照）画面上部 表示 欄を適宜設定後（積算体系 や 年度 等） 工事選択ツリーより該当工事にチェックを付けた後、画面上部の **確定** クリック
5. 個別工事 BackUP 画面に戻るので **BackUP 実行** クリック
6. 個別工事選択画面に戻るので、該当処理の 処理状況 欄が **BackUP 処理完了** になったら **ファイル名** 欄のリンクをクリック
7. ブラウザの設定に基づき、該当フォルダーに 他システム用工事退避ファイル（拡張子 .Rkojc）生成



4.2 メビウスRで工事復旧

クラウドR で退避ファイル(拡張子 .Rkojc)を作成したら、引き続き メビウスR で工事データを復旧します。

4.2.1 ドラッグ&ドロップで復旧

工事退避ファイルを メビウスR 起動画面にドラッグ&ドロップすると、ファイル形式に基づき各項目が設定された状態で 工事 退避 / 復旧 画面が表示されるので、各項目を確認後、画面右下 確定 をクリックしてください。正常に復旧されるとその旨、メッセージが表示されるので、工事選択画面より該当工事が復旧されているのを確認してください。

起動画面中段に退避ファイルをドラッグ&ドロップ

クラウドRの退避ファイル(拡張子 .Rkojc)

ドラッグ&ドロップした退避ファイルに基づき自動的に復旧設定

設定確認後「確定」をクリック

復旧内容表示

メッセージ

復旧処理が完了しました

工事データの復旧状況の詳細は、下記内容を確認してください。

成功 : 1件

【復旧状況の詳細】

- 成功した工事
- クラウドR 網橋地盤 退避工事

内容をクリップボードにコピー

OK

更新日	種別	題目	内容	Webページ	添付1	添付2	添付3
2022.11.30	単価更新	単価更新 2022/11/30					
2022.11.28	システム	Ver2.07.002 スポット公開					
2022.11.10	お知らせ	令和4年度歩掛採用風/令和3年度					
2022.11.07	システム	Ver2.07.000 バージョンアップ					
2022.07.13	お知らせ	令和4年7月1日更新として市場単					
2022.06.30	お知らせ	兵庫県土地改良 令和4年6月単価					
2022.03.30	お知らせ	プロジェクトをご利用のお客様へ					
2022.03.17	お知らせ	【岩手県】3月発注工事の労務単価					

4.2.2 手動復旧

クラウドR（クラウド新バージョン）から他システム用工事退避ファイル（拡張子.Rkojc）を作成したら、メビウスR起動画面内のメニューにある 工事 退避 / 復旧 をクリックして表示される画面より、以下手順で工事データを復旧してください。

1. 工事退避 / 復旧画面上部の 復旧 を選択
2. クラウド連携ファイルの復旧を行う にチェック
3. 該当ファイルを選ぶと 工事 退避 / 復旧 画面にファイルパスが表示されるとともに、退避ファイル内の工事データが一覧表示されるので、該当工事左端欄にチェックを付けた後、確定 クリック
4. 復旧完了 が表示されたら OK をクリック
5. 工事選択画面に復旧した工事データ反映

該当退避ファイル（拡張子.Rkojc）選択

MoobiusR起動画面より「工事退避／復旧」クリック

選択した退避ファイルのパス反映

工事退避／復旧画面上部「復旧」選択

「クラウド連携用ファイルの復旧を行う」にチェック

選択した退避ファイル中の工事一覧より該当工事左端欄にチェックを付けた後「確定」クリック

工事選択画面に該当工事復旧

メッセージ

復旧処理が完了しました

工事データの復旧状況の詳細は、下記内容を確認してください。

成功 : 1件

【復旧状況の詳細】

- 成功した工事
- ・ # 1 2 6 4 5 ● C R → R

内蔵をクリップボードにコピー

OK

第 5 章

【メビウス R → クラウド R】工事退避復旧

Moobius R で作成した工事データを MOOBIUS for Cloud R（クラウド新バージョン）に移行する手順について説明します。

主な手順は以下となります。

1. メビウス R で工事データをクラウド連携ファイル形式で工事退避
2. クラウド R（クラウド新バージョン）で他システム用工事取込 処理

**クラウド連携
ファイル退避**

クラウドR (クラウド新バージョン)

**クラウドR用退避ファイル
○△×.Rkojc**

**クラウドR用
工事復旧**

5.1 メビウスRで工事退避

メビウスR の工事データを クラウド連携ファイル形式で工事退避（拡張子 **.Rkojc**）するには、以下のいずれかの手順で行ってください。

5.1.1 工事選択画面より工事退避

メビウスR の工事選択画面からクラウド連携ファイル形式で工事退避ファイルを作成できます。

1. メビウスR 工事選択画面で該当工事データ右クリックメニューより **MOOBIUS for Cloud R** を選択
2. 工事退避 画面が表示されるので、出力先 設定後、確定 クリック
3. 指定したフォルダーにクラウド連携ファイル形式の工事退避ファイル（拡張子 **.Rkojc**）生成

MoobiusR工事選択画面で
 該当工事右クリックメニューより
 「工事ファイルの退避－MOOBIUS for Cloud R」
 を選択

ファイル出力先設定

設定したフォルダに
 クラウドR用退避ファイル
 (拡張子.Rkojc) 生成

5.1.2 システム起動画面より退避

メビウスR 起動画面からは複数の工事データについて、一括でクラウド連携ファイル形式の工事退避ファイルを作成できます。

1. メビウスR 起動画面中段より 工事退避 / 復旧 をクリック
2. 工事退避復旧画面が表示されるので画面上部の 退避 選択後、クラウド連携用ファイルの出力を行うにチェックを付けた後、該当工事左端にチェックを付ける
3. 工事退避復旧画面より、工事退避ファイルの 出力先 を設定後、確定 クリック
4. 指定したフォルダーにクラウド連携ファイル形式の工事退避ファイル（拡張子 .Rkojc ）生成

The screenshot illustrates the Moobius R interface for backing up project data. Key elements include:

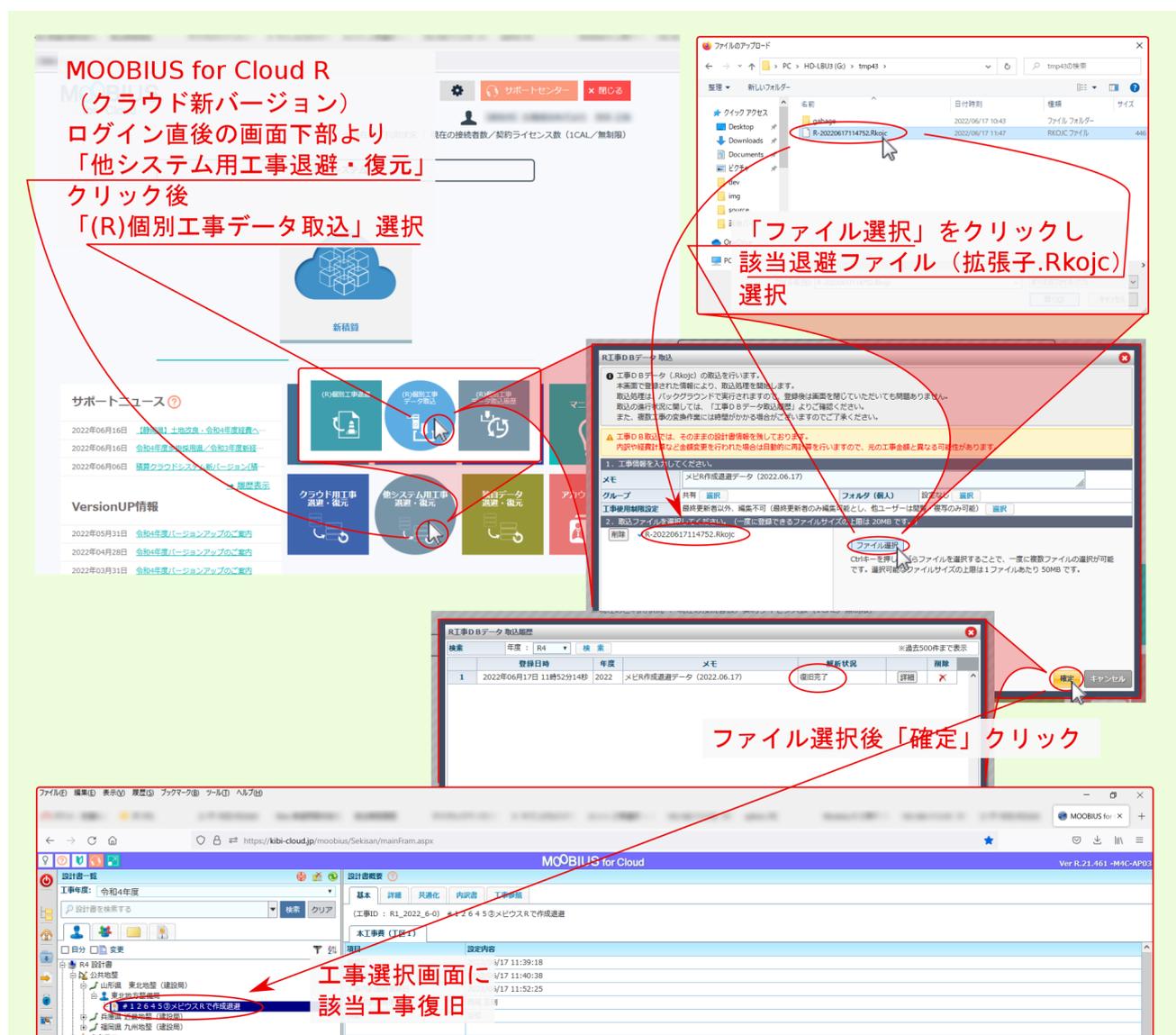
- MoobiusR起動画面より「工事退避／復旧」クリック**: A red arrow points to the '工事退避／復旧' button in the top navigation bar.
- 「クラウド連携用ファイルの出力を行う」チェック**: A red arrow points to the checkbox for 'クラウド連携用ファイルの出力を行う' in the settings section.
- 「退避」選択**: A red arrow points to the '退避' radio button in the top left of the main area.
- 出力先設定**: A red arrow points to the '出力先' dropdown menu.
- 該当ファイルチェック後「確定」クリック**: A red arrow points to the '確定' button at the bottom right of the main area.
- 指定したフォルダに退避ファイル（拡張子.Rkojc）生成**: A red arrow points to the file 'R-20220617115544.Rkojc' in the file explorer window.

最終更新日時	年度	積算	工事名称	工事場所 / 河川・路線名	適用単価 (ベース)
令和04年06月17日 11時40分38秒	【工事】 令和 4年		#12645③メビウスRで作成退避	山形県 東北地盤 (建設)	令和04年04月01日 山
令和04年06月17日 09時05分01秒	【工事】 令和 4年		#12645●CR→R	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月16日 17時59分29秒	【工事】 令和 4年		#12645●	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月16日 15時40分13秒	【工事】 令和 4年		ああああ	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月16日 15時40分13秒	【工事】 令和 4年		111111	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月16日 15時40分13秒	【工事】 令和 4年		66666	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月15日 11時30分33秒	【工事】 令和 4年		2022.06.15	東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
令和04年06月15日	【工事】 令和 4年			岡山県 全地域 (建設)	令和04年05月01日 岡
				東京都 (港湾)	令和04年05月01日 東
				東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東
				東京都 関東地盤 (建設)	令和04年06月01日 東

5.2 クラウドR（クラウド新バージョン）で工事復旧

クラウド連携ファイル用の工事退避ファイル（拡張子 .Rkojc）を作成したら、クラウドR（クラウド新バージョン）ログイン直後の画面より他システム用工事データ取込により、以下手順で工事データを復旧してください。

1. クラウドR（クラウド新バージョン）のログイン直後の画面下部より他システム用工事退避・復元をクリックして表示される選択肢より（R）個別工事データ取込 選択
2. 取込設定画面が表示されるので、ファイル選択 をクリックして該当ファイル選択
3. 選択した退避ファイル名が表示されたら 確定 クリック
4. 取込履歴画面で該当退避ファイルの 解析状況 欄が 復旧完了 になる
5. 工事選択画面に該当工事データが反映される



6.1 メビウスRで工事退避

メビウスR の工事データを クラウド実行予算連携ファイル形式で工事退避（拡張子 .zip ）するには、工事選択画面より行います。

6.1.1 工事選択画面より工事退避

メビウスR の工事選択画面からクラウド実行予算連携ファイル形式で工事退避ファイルを作成できます。

1. メビウスR 工事選択画面で該当工事データ右クリックメニューより **MOOBIUS for Cloud** 実行予算選択
2. 工事退避 画面が表示されるので、出力先 設定後、確定 クリック
3. 指定したフォルダーにクラウド実行予算連携ファイル形式の工事退避ファイル（拡張子 .zip ）生成

**MoobiusR工事選択画面で
該当工事右クリックメニューより
「工事ファイルの退避－MOOBIUS for Cloud 実行予算」
を選択**

The screenshot shows the Moobius R interface. On the left, a tree view lists projects under '令和04年09月'. The project '積算工事データ (実行変換用)' is selected. A right-click context menu is open, and the path '工事ファイルの退避' > 'MOOBIUS for Cloud R' > 'MOOBIUS for Cloud 実行予算' is highlighted. A dialog box titled 'ファイル出力先指定' (File Output Destination) is shown, with the output path 'G:\tmp43' entered. A note below the path reads: '【注意】 退避したファイルの名前は変更しないでください。' (Note: Do not change the name of the archived file). The '確定' (OK) button is highlighted. Below the dialog, a Windows File Explorer window shows the 'tmp43' folder containing a file named 'R_2022_積算工事データ (実行変換用)_20220927113239.zip'.

ファイル出力先指定

出力先 : G:\tmp43
【注意】 退避したファイルの名前は変更しないでください。

**設定したフォルダに
クラウド実行予算用
退避ファイル生成
(拡張子.zip)**

6.2 クラウド実行で工事復旧変換処理

クラウド実行予算連携ファイル用の工事退避ファイル（拡張子 **.zip**）を作成したら、クラウド実行 を起動して表示される工事選択画面より、以下手順で工事復旧変換を行ってください。

1. クラウド実行 を起動して表示される工事選択画面の左端にある「家」のアイコンの ホーム ボタンをクリック
2. ホーム ボタンをクリックして表示されるメニューより 新規 を選んで表示される **X,R** データ を選択
3. データ登録画面が表示されるので 年度 欄、メモ 欄を適宜設定・入力後、ファイル選択 をクリックして該当ファイルを選ぶ
4. 選択した退避ファイル名が画面左に表示されたら 確定 クリック
5. 取込履歴画面が表示されるので、該当項目の 解析状況 欄が 復旧完了 になったら 詳細 クリック
6. 取込詳細情報画面が表示されるので、該当工事の 作成 欄をクリック
7. 積算データから実行予算データへの変換設定画面が表示されるので、適宜設定し実行予算データを作成

MOOBIUS for Cloud 実行予算工事選択画面
「ホーム-新規-X,Rデータ」選択

「ファイル選択」をクリックし
 該当退避ファイル(拡張子.zip)
 選択

「年度」「メモ」設定、入力

解析状況「復旧完了」→「詳細」クリック

「作成」クリック

実行予算データへ変換設定

第7章

【メビウスR → クラウドR実行】工事退避 復旧

メビウスR で作成した工事データを クラウドR実行予算 に移行する手順について説明します。
主な手順は以下となります。

1. メビウスR で工事データをクラウドR連携ファイル形式で工事退避
2. クラウドR実行 で工事復旧変換処理

The screenshot displays the Moobius R web application interface. At the top, the logo 'MOOBIOUS R' is visible, along with the company name '吉備システム株式会社' and version information 'Ver 3.02.000'. The main navigation bar includes links for 'トップ', 'メンテナンス', '見積設定', '見積管理', 'サポート', 'バージョン', and 'マニュアル'. Below this, there are three large circular buttons: '工事復旧' (Project Restoration), '新規作成' (New Creation), and 'PDF/XLS 取り込み' (PDF/XLS Import). A red box highlights the '工事復旧' button, with an arrow pointing to a text box that reads 'クラウドR新実行予算 連携退避ファイル ○○××.Rkojc'. Another red box highlights the 'PDF/XLS 取り込み' button, with an arrow pointing to a text box that reads 'クラウドR実行予算'. In the center of the interface, there are two buttons: '新見積' (New Estimate) and '新実行予算' (New Execution Budget). A red box highlights the '新実行予算' button, with an arrow pointing to a text box that reads '工事復旧 実行予算変換'. Below these buttons, there is a section titled '積算システムRのご利用について' (About the Use of the Estimation System R) with a sub-heading '<移行クラウドへの最新プログラム及びデータ処理について>' (About the Latest Programs and Data Processing for Migration to the Cloud). The text in this section discusses the migration to the cloud, mentioning that the latest programs and data processing are provided from June 2023 onwards, and that users should use the cloud version of the software. It also mentions that the migration process is detailed in a manual and that users should contact the support center if they have any questions. At the bottom of the page, there is a 'サポートニュース' (Support News) section with a list of recent news items, and a row of icons for '見積変更履歴' (Estimate Change History), '設計書履歴' (Design History), '見積資料参照' (Estimate Document Reference), and 'マニュアル' (Manual).

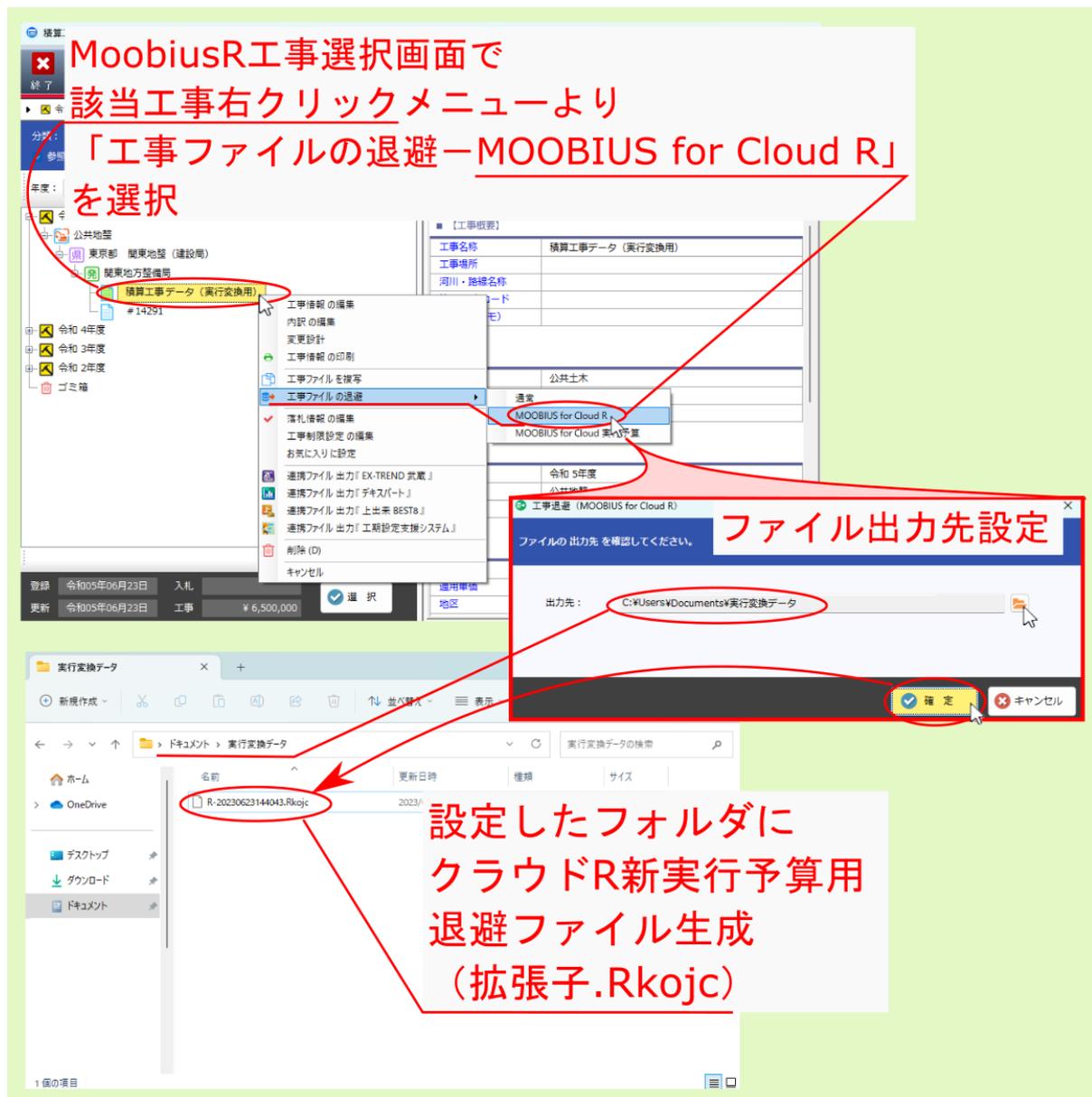
7.1 メビウスRで工事退避

メビウスR の工事データを クラウドR連携ファイル形式で工事退避（拡張子 **.Rkojc**）するには、工事選択画面より行います。

7.1.1 工事選択画面より工事退避

メビウスR の工事選択画面からクラウドR連携ファイル形式で工事退避ファイルを作成できます。

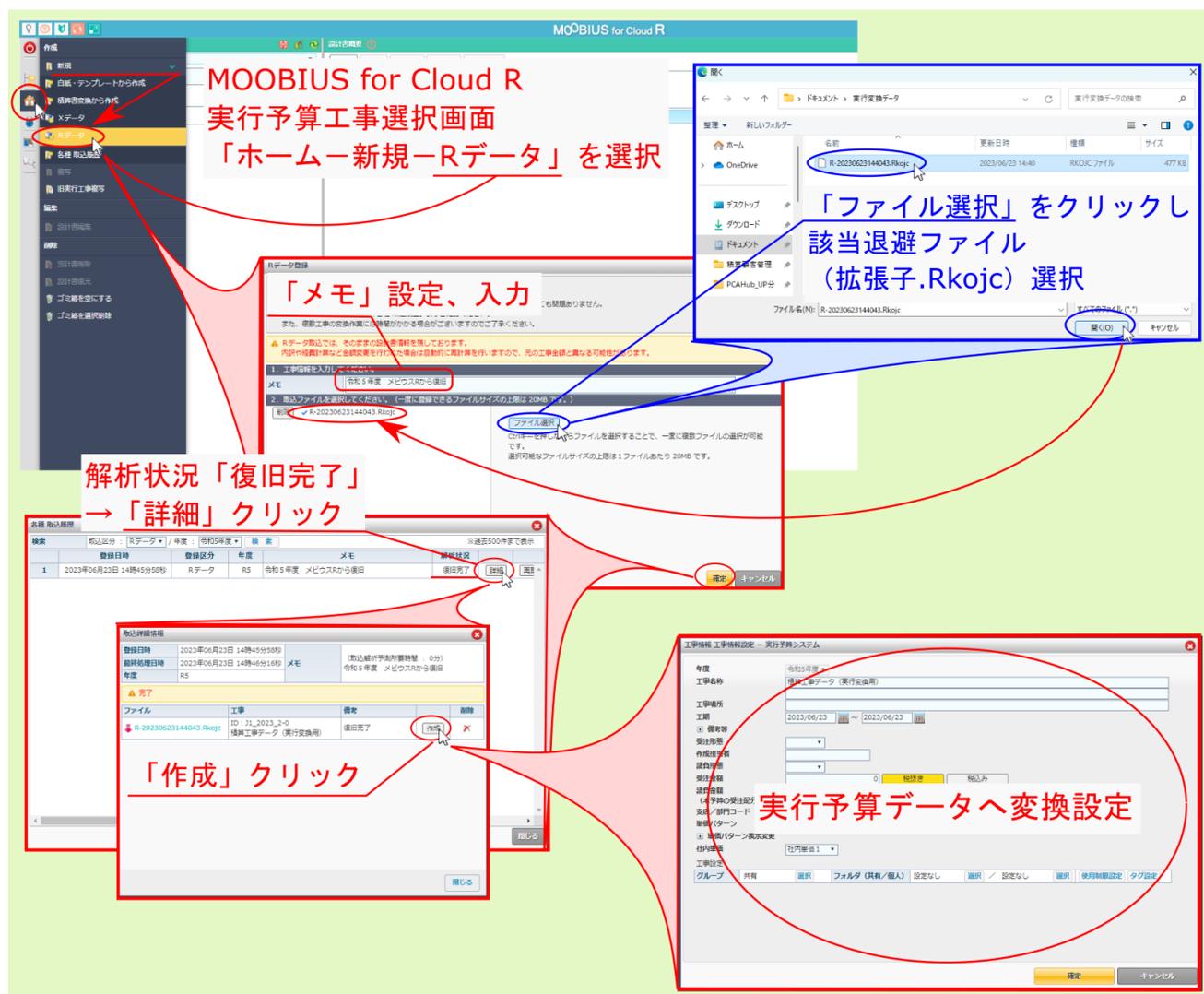
1. メビウスR 工事選択画面で該当工事データ右クリックメニューより **MOOBIUS for Cloud R** 選択
2. 工事退避 画面が表示されるので、出力先 設定後、確定 クリック
3. 指定したフォルダーにクラウドR連携ファイル形式の工事退避ファイル（拡張子 **.Rkojc**）生成



7.2 クラウドR実行で工事復旧変換処理

クラウドR連携ファイル用の工事退避ファイル(拡張子 .Rkojc)を作成したら、クラウドR実行 を起動して表示される工事選択画面より、以下手順で工事復旧変換を行ってください。

1. クラウドR実行 を起動して表示される工事選択画面の左端にある「家」のアイコンの ホーム ボタンをクリック
2. ホーム ボタンをクリックして表示されるメニューより 新規 を選んで表示される Rデータ を選択
3. データ登録画面が表示されるのでメモ 欄を適宜設定・入力後、ファイル選択 をクリックして該当ファイルを選ぶ
4. 選択した退避ファイル名が画面に表示されたら 確定 クリック
5. 取込履歴画面が表示されるので、該当項目の 解析状況 欄が復旧完了 になったら 詳細 クリック
6. 取込詳細情報画面が表示されるので、該当工事の 作成 欄をクリック
7. 積算データから実行予算データへの変換設定画面が表示されるので、適宜設定し実行予算データを作成



索引

- き
 - 起動画面より退避, 4, 13
- く
 - クラウドR実行で工事復旧変換処理, 52
 - クラウドで工事退避, 24
 - クラウド実行で工事復旧変換処理, 46
- こ
 - 工事選択画面より工事退避, 32, 39, 44, 51
 - 工事選択画面より退避, 5, 16, 27
- し
 - システム起動画面より退避, 41
 - 手動復旧, 9, 20, 29, 35
- と
 - ドラッグ&ドロップで復旧, 7, 18, 28, 34
- め
 - Moobius R で工事復旧, 7, 18
 - クラウドR (クラウド新バージョン) で工事退避, 32
 - クラウドR (クラウド新バージョン) で工事復旧, 42
 - メビウスRで工事退避, 3, 39, 44, 51
 - メビウスRで工事復旧, 28, 34
 - メビウスXで工事退避, 12
- ろ
 - ログイン直後の画面より退避, 25, 33